



海事産業における
女性活躍推進
の
取組事例集

Vol.3



輝け！フネージョ★



男性と肩を並べて活躍できる環境へ

女性にも生きがい を見つけられる 会社を目指して



女性が活躍している部門はさまざま。総務部門だけでなく、営業や設計、工務部門など幅広い分野で重要な役割を担っています。プライベートでは女子会などの交流もよく行っていて、部門や立場をこえてお互いが支え合い、良好な人間関係を築いています。

会社の姿勢

派遣従業員を正規従業員に登用

当社ではこの2~3年で女性従業員比率、定着率ともに伸びつつあります。この大きな要因は、女性の派遣従業員を積極的に正規従業員に登用してきたことです。

数年前から派遣従業員を増員し、家庭の事情等に合わせて個々に決めた時間内に働いてもらえるよう工夫をしてきました。こうした中「今後も本瓦造船で働き続けたい」という派遣従業員からの声を受け、会社内での評価が高かった「派遣従業員」を「正規従業員」として積極的に採用を開始しました。

派遣従業員側のメリットとしては「職場環境や内容、社風などを理解した上で入社を判断することができ不安が少ない」こと、会社側のメリットには「採用後の定着率が高い」ことがあり、お互いにWin-Winの関係です。実際に採用した従業員は正規従業員に登用されたことでモチベーションが高まり、定着率も100%となっています。



女性ならではの大胆かつ繊細な仕事ぶりやコミュニケーション能力で、仕事をより円滑かつ効率的に進めることができようになり、職場も明るい雰囲気になりました。

社内環境

女性が働きやすい職場環境づくりと社内外の評価アップ

女性従業員の増加とともに「女性が働きやすい職場環境づくり」を進めています。例えば女性用トイレの数を増やしたり、男女兼用の作業服のズボンは自身で用意したものに替えてもよいというルールに変更するなど、柔軟な対応で女性従業員の意見を反映してきました。

また女性が活躍する職場環境の変化によって社内外の評価も変わってきました。社内ですごった良い変化は「コミュニケーションの増加」で、それによってより円滑かつ効率的に仕事ができるようになったと感じています。社外においては「女性が多く活躍している職場」ということでの認知度がアップしています。進水式に参列したお客様が、女性従業員の働く様子を見て「御社には女性が多いですね」「女性はどのような部署で活躍しているのですか」と尋ねられ、女性の活躍に驚く声を聞くことがよくあります。



長澤明美さん（生産設計担当）
私も派遣社員から正社員へ転身した一人です。日々のづくりの楽しさを感じています。現場へ施工確認に行くと「もっといい船を造りたい！」という意欲が湧いてきて、それが働く原動力になっています。

取り組んでいる会社の概要

本瓦造船株式会社

代表者：本瓦 誠（代表取締役社長）
所在地：広島県福山市鞆町後地 1717 番地
資本金：5,750 万円
事業内容：各種小型鋼船・鉄鋼構造物の
製造及び修理
従業員数：70 名
（令和元年 6 月時点）

※当社の取り組みは、広島県が推進する
働き方改革・女性活躍発見サイト「ヒント！ひろしま」にも掲載されています。